

## 重点分野－３：

### 男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現

性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざします。その実現に向けて、男女平等参画をはじめとして「真の多様性」\*2 に向けた法整備や職場環境の改善などの取り組みを推進していきます。

また「フェアワーク」\*3 の実現に向けて、働くうえでの困難さが多様化している現状の対応として、すべての働く者の拠り所となるべく体制を整備していきます。

#### 1. 性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、やりがいをもって働くことのできる職場・社会の実現

- (1) 多様性が尊重される社会の実現に向けて「ジェンダー・バイアス」\*4 や「アンコンシャス・バイアス」\*5 などを払拭するため、連合本部と連携し、社会全体への波及や職場環境の改善をはかります。
- (2) 日本で働く外国人労働者について、互いに認め尊重し合いながら働くことのできる「共生」に向けた職場づくり、相談対応について、連合本部と連携します。
- (3) 非正規雇用・曖昧な雇用など、多様な働く仲間の課題解決や社会的波及力の強化に向けて、連合本部と連携します。
- (4) 非正規雇用に関わる課題については、県や労働局の各種審議会において提起するとともに、経営者団体等との意見交換を行うなど、処遇改善を推進するよう、働きかけます。
- (5) 非正規雇用の処遇改善に向け、連合岡山ふれあいユニオンを足掛かりとした組織化の促進に取り組みます。
- (6) 非正規労働問題に関しては、課題を共有化するために学習会を実施します。

#### 2. 男女平等の実現、均等待遇、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けた取り組み

- (1) 2020年9月までを目標とした「連合第4次男女平等参画推進計画」が1年延長され、連合岡山の成果と残された課題を共有し、2021年10月以降の新たな取り組みにつなげていきます。また、女性役員の人材育成等を目的に、全構成組織より女性委員会の委員として参画できるよう、対話活動や教宣資料等を通じて理解促進をはかります。
- (2) 連合「男女平等月間」（6月）の取り組みにおいて、誰もが安心して働き続けられる職場環境の整備、女性活躍推進、育児・介護休業法、ハラスメントの防止対策など、県および労働局に対し、要請行動を行います。
- (3) 「3・8国際女性デー」「パートナーシップフォーラム」など、さまざまな機会をとらえ、男女平等参画社会の実現に向けた連合の取り組みについて周知、世論喚起をはかります。
- (4) 連合運動への参画と次世代を担う女性リーダーの育成の観点で「かがやきセミナー」を開催し、女性委員会の活動強化、活性化等に取り組みます。
- (5) 女性委員会活動を周知するとともに、男女平等参画意識を醸成する一環として、女性委員会広報誌「Sparkle（スパークル）」を発行します。

\*2 「真の多様性」・・・すべての人の人権を尊重し、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが平等・対等で多様性を認め合うこと。

\*3 「フェアワーク」・・・真の多様性を満たし、不合理な格差がなく、公正・公平な働き方のこと。

\*4 「ジェンダー・バイアス」・・・男女の役割などの固定的な観念、無意識を含む性差別的な偏見のこと。

\*5 「アンコンシャス・バイアス」・・・先入観や思い込み、決めつけなど、無意識の偏ったものの見方、偏見のこと。

### 3. 多様な労働相談への対応力向上を含む「フェアワーク」推進の取り組み

- (1) これまでの「非正規労働センター」の積み上げてきた知見を活かしつつ、名称を「フェアワーク推進センター」と改め「真の多様性」の実現に向けた「フェアワーク」の必要性・重要性を組織内外に広く発信します。
- (2) 労働相談体制見直しPTの議論を踏まえ、労働相談体制強化に向けた具体的な体制づくりについて、連合本部と連携します。
- (3) 全国一斉集中労働相談ホットラインの実施にあたっては、連合運動を広く発信するとともに、相談対応の充実をはかる観点から、構成組織・地域協議会等に対して積極的な参加を呼びかけます。
- (4) 労働相談の担い手の育成と体制強化をはかるため、連合本部や（公財）全国労働基準関係団体連合会（全基連）主催の研修等への参加を呼びかけます。
- (5) これまで行ってきた労働相談PRの宣伝活動やテレビCM、Google リスティング広告、YouTube 広告等の効果を検証し、効果が高いものについては、通年の取り組みとするなど、より高い次元の広告、宣伝を進めていきます。
- (6) スマホ対応を含めた連合岡山ホームページをリニューアルし、労働相談者や一般利用者にとって、見やすく伝わりやすい構成をめざします。